

九州・山口地域の活力創造に向けた 社会資本整備等について

九州・山口地域は、自動車産業や半導体関連産業が集積し、多彩な観光資源や農林水産資源などを有している。今後、地域経済が引き続き成長を続けていくためには、こうした地域経済を牽引する産業・観光資源を最大限活用していくことが重要である。

また、本年3月に取りまとめた「九州・沖縄地方成長産業戦略」の戦略産業分野を推進するためには、国の成長戦略の効果を取り込みながら、地域間の連携を深化させていく必要があり、そのためには、連携の基盤となる循環型高速交通ネットワークをはじめとする社会基盤の整備が不可欠である。

さらに、九州・山口地域は、近い将来において南海トラフ地震の発生が懸念されており、高規格幹線道路や国道、鉄道、離島航路等のネットワークをはじめ、河川、砂防、港湾施設等の社会資本は、災害時の住民避難や緊急輸送などの面も含め、防災・減災対策の重要なインフラとなるものである。

しかし、新幹線については、九州新幹線鹿児島ルート of 全線開業や九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の長崎延伸など、着実に整備が進められているが、昭和48年に基本計画が決定された東九州新幹線は、整備に向けた具体的な検討が未着手の状況である。

一方、中央自動車道笹子トンネルの悲惨な事故を教訓として、生活や経済の基本である社会資本が機能的に維持されるよう、様々な施設の老朽化対策を進めることも極めて重要な課題である。

九州・山口地域の一体的な発展に向け、地域による必要な社会資本の計画的かつ迅速な整備と計画的な維持管理・更新を可能にするため、国においては、必要な予算総額を確保するよう求める。

1 高規格幹線道路・地域高規格道路の着実な整備

東九州自動車道、九州横断自動車道・延岡線、西九州自動車道、南九州西回り自動車道、那覇空港自動車道、山陰自動車道といった「高規格幹線道路」や、高規格幹線道路を補完し、地域の交流・連携・連結機能を強化する「地域高規格道路」について、計画の前倒しを含め、早期にミッシングリンクを解消するよう、事業中区間の早期供用、並びに未着手区間の早期事業化を図ること。

2 九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の整備促進

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の工期短縮を図り、一日も早い開業に向けて、武雄温泉～長崎間（肥前山口～武雄温泉間の複線化事業を含む。）の整備を促進すること。

山陽新幹線への乗り入れが可能となるフリーゲージトレインの早期実用化に向けた技術開発を進めるとともに、山陽新幹線で最速となっている時速300キロを目指して技術開発を継続すること。

また、開業に向けた地元の一層の機運醸成を図るため、「九州新幹線西九州ルート」に名称を統一すること。

3 東九州新幹線の整備計画路線への格上げ

新幹線は、安全でエネルギー効率に優れた環境にやさしい大量輸送交通機関であるとともに、国土の均衡ある発展と地域の活性化の基礎となる高速交通基盤である。

国においては、東九州新幹線の早期整備が図られるよう整備計画路線への格上げを行うとともに、所要の整備財源を確保すること。

4 社会資本の老朽化対策

今後、急速な老朽化の進行が見込まれる社会資本について、適切に維持管理・更新を実施していくための社会資本整備予算を継

続的に確保するとともに、維持管理・更新に係る技術開発や技術者の育成を推進すること。また、河川や港湾施設の維持管理・更新に係る補助制度の対象を小規模な施設にまで拡大するとともに、交付金の補助率の嵩上げなど財政支援の拡充を図ること。

5 離島航路への支援

離島航路は、本土における道路と実質的に同様の役割を果たしており、島民の日常生活の維持、地域振興の観点からも必要不可欠なものであることから、その維持を図るため、燃油価格の高騰対策など必要な支援策を講じること。

平成26年6月

九州地方知事会長

大分県知事 広瀬 勝貞